

事 務 連 絡  
令和 2 年 9 月 24 日

(一社) 全国植物検疫協会 御中

農林水産省消費・安全局植物防疫課

輸入農業機械に対する植物防疫所による確認の実施に係る協力依頼について

日頃から植物検疫業務に御理解、御協力を賜り、御礼申し上げます。

農林水産省では、海外から持ち込まれる植物や土を介して農作物に損害を与える病害虫が侵入することを防止するため、植物防疫法（昭和 25 年法律 151 号）に基づき、各地の空港や港において植物検疫を実施しています。

土については、様々な病害虫を含んでいる可能性があることから、植物防疫法に基づき、我が国への持込みが禁止されています。特に、中古の農機具や車両、建築資材等（以下「中古農業機械等」という。）については、通例、屋外で使用されることから、土が付着した状態で輸入されることが懸念されます。このため、輸入関係者の皆様のご協力をいただき、中古農業機械等に土が付着していることを確認した場合等は、植物防疫所への連絡をお願いしてきただけです。

このうち、農業の用に供される中古の機械類及び車両（以下「中古農業機械」という。）については、国際的な移動に伴う有害動植物の侵入・まん延のリスクがあることから、平成 29 年の国際植物防疫条約（IPPC）総会において、「中古の車両、機械及び装置の国際移動に関する国際基準」が採択されたところです。これを受け、EU や韓国等では、中古農業機械に対する輸入植物検疫措置が強化されました。

このような状況を踏まえ、本年 10 月 1 日から 1 年間、税関の協力の下、輸入された中古農業機械に対する税関による検査の際に、可能な限り植物防疫官が立ち会い、土の付着状況等の確認を行うこととしました。

なお、確認の結果、土の付着等が確認された場合は、土の除去等の実施について、植物防疫所から連絡が行われます。

つきましては、このことについて、貴協会所属の会員の皆様に周知いただきますようご協力をお願いいたします。

**【問い合わせ先】**

農林水産省消費・安全局植物防疫課  
防疫対策室輸入検疫班  
電話 03-6744-7167

# 土は輸入が禁止されています

— 輸入農業機械類に土が付着しないようお願い! —



輸入農業機械に土が付着していませんか？

土は **日本にいない病害虫** が含まれている可能性が高く  
**日本の農業生産に悪影響** を及ぼすリスクがあります

土の付着の可能性があるもの（例）



トラクター、ロータリー・ハローなどのアタッチメント、耕運機、播種機 など



海外から農業機械類を輸入する際の注意点

☞ 輸出前に **土を除去するよう輸出元に依頼** してください。  
特に、中古の農業機械には土が付着しているおそれがありますので、  
事前に除去されていることを確認してください。

☞ 輸入の際には、  
・土が付着していないかを確認してください。  
・土が付着していたときは、速やかに最寄りの  
植物防疫所に届け出てください。

☞ 土を輸入した場合、3年以下の懲役 又は  
100万円以下の罰金が科せられる場合があります。



## 植物防疫所の主なお問合せ先

● 横浜植物防疫所	045-211-7152	● 門司植物防疫所	093-321-2601
● 名古屋植物防疫所	052-651-0112	● 那覇植物防疫事務所	098-868-2850
● 神戸植物防疫所	078-331-2386		

**MAFF**  
Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries  
農林水産省

ご不明な点がございましたら  
最寄りの植物防疫所に  
ご相談ください。